

# 令和7年（2025）12月 入域観光客数概況（速報）

86万2,600人  
対前年（R6）同月比 +4万6,200人、+5.7%  
～12月としては過去最高～

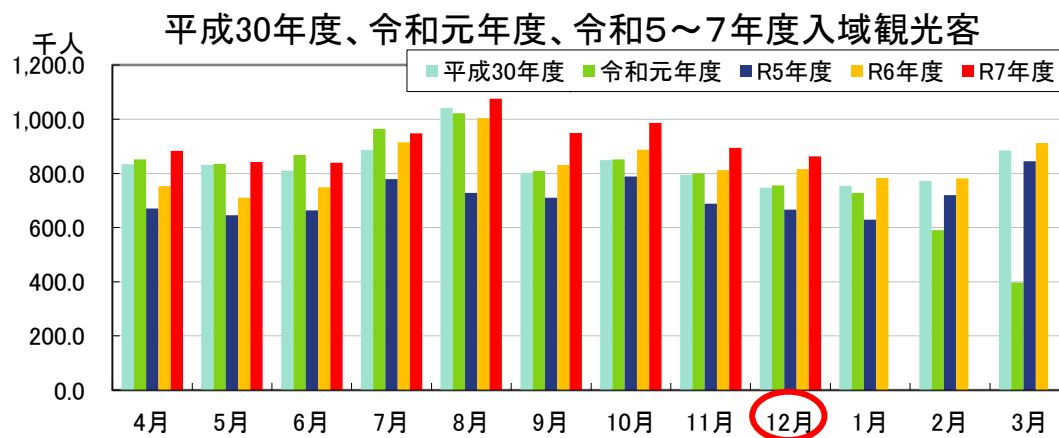
## 入域状況

入域観光客数（R6年度と※R元年度との比較）

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※R元年度
国内客	647,900人	612,300人	+35,600人	+5.8%	75.1%	572,700人
空路	645,900人	610,500人	+35,400人	+5.8%	74.9%	566,000人
海路	2,000人	1,800人	+200人	+11.1%	0.2%	6,700人
外国客	214,700人	204,100人	+10,600人	+5.2%	24.9%	182,400人
空路	162,800人	130,900人	+31,900人	+24.4%	18.9%	105,000人
海路	51,900人	73,200人	△21,300人	△29.1%	6.0%	77,400人
合計	862,600人	816,400人	+46,200人	+5.7%	100.0%	755,100人

※外国客には、海路における乗務員等18,600人を含む。

※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しているため、同庁公表後の令和8年3月の公表を予定しています。



## 国内客 入域状況

12月は、引き続き修学旅行シーズンが続いたことに加え、年末年始の需要を見込んだ航空会社による増便・臨時便や地方発着のチャーター便の運航があったことにより、前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡・名古屋方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

1月は、年始の航空会社による増便・臨時便等があることのほか、国内・県内発着クルーズの寄港が多数予定されていることから好調に推移すると見込まれる。

## 国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※R元年度
東京方面	323,200人	298,400人	+24,800人	+8.3%	49.9%	277,900人
関西方面	125,800人	125,000人	+800人	+0.6%	19.4%	114,000人
福岡方面	83,900人	79,200人	+4,700人	+5.9%	12.9%	74,000人
名古屋	56,200人	51,500人	+4,700人	+9.1%	8.7%	47,300人
その他	58,800人	58,200人	+600人	+1.0%	9.1%	59,500人
合計	647,900人	612,300人	+35,600人	+5.8%	100.0%	572,700人

参考：国内線経由入域外国人数 約32,800人（航空会社ヒアリングにより推計値を算出）

（注）推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。